

実施年度	実施主体	対象獣種	取組内容			
			捕獲	追払	点検	他
R7～R9	愛媛県鬼北町	シカ、イノシシ	◎	—	○	—

現状・課題

県の南部にあたる南予地域で約65%の被害が発生している。

鬼北町においては、狩猟免許所持者のうち約70%が65歳以上となっており、設置後のわなの見回りが課題となるため、ICT機器の導入により、捕獲者の見回り負担を軽減することによって有害鳥獣の捕獲活動を推進し、「鬼北町鳥獣被害防止計画」の被害軽減目標（金額16,467千円、面積16.60ha）を達成する。

事業概要

- ・捕獲通知機器による省力的な捕獲の実践。また、捕獲確認までの時間を短縮することで、併せてジビエ利用（ベッドフード）の増加につなげる
- ・捕獲データはアプリで集約し、個体数管理等に活用

活用機器※交付金活用外の機器を含む

- ・捕獲通知機器
- ・捕獲報告アプリ

モデル地区の普及範囲

- ・県内外

【イメージ】

